

王充

王求

楽斤

幸良

## 「県民の願い尊重を」

## 米拠点連帯組織NO

## 辺野古、高江で抗議声明

在沖米軍基地閉鎖を訴える米国拠点の連帯組織「ネットワークフォア沖縄」(NO)は16日、名

護市辺野古の普天間飛行場代替施設建設と東村高江のヘリパッド建設について抗議声明を発表した。ジョン・フェファー代表は「新基地建設に反

対する大多数の沖縄県民の願いを尊重するよう、日米政府に求める」と訴えている。

NOは生物多様性センターなどの環境団体や政策研究機関など16団体で構成。米軍基地の拡大に反対し、沖縄の自己決定権を支援する。基地をめ

ぐる沖縄の状況をホームページ上で紹介するほか、米ワシントン・ポスト紙に普天間撤去を訴える全面広告を掲載するなどの活動を行っている。

声明文は、建設予定地は沖縄でしか見つけられない希少種や絶滅危惧種の生息地で、住民が環境や文化遺産の危機を訴えていることを説明。フェファー氏は「世界で最も多様な生態系に、

日米政府が取り返しのつかない損傷をもたらす建設計画を主張・推進するのは信じ難い悲劇だ」と批判。「金融危機や悪化する財政状況の中、両国が教育や社会福祉活動を削減し、軍産複合体への利益のみを支援する計画を受け入れることは衝撃的だ」としている。

NOのホームページは <http://www.close-the-base.org/>